

講演会（9月26日）のご案内

会員の皆様

日本アルジェリア協会主催の講演会を来る9月26日に以下の要領で開催します。

講師は当協会会員の英隆行氏です。講演テーマは「タッシリ・ナジェールの先史壁画 – アンリ・ロート調査隊の足跡をたどる」です。

【英氏による講演内容紹介】

タッシリ・ナジェールで主要な壁画が集中するプラトー（台地）と呼ばれる地域は、2013年1月のイナメナスでのテロ事件以降閉鎖された状態が続いていました。

リビア国境まで40kmと近く、山岳地帯のため国境警備が困難なためです。そこで軍の駐屯が大幅に増強されて、国境警備が強化されました。

2年間の国内観光客限定の試行期間を経て、ようやく2022年に閉鎖が解かれました。

2022年と2023年にはプラトー地域、2024年にはタジェラヒン地域の壁画調査旅行に参加しました。主たる調査目的は、1956年から1970年にかけて派遣されたアンリ・ロート調査隊による850点の壁画模写が制作された場所を探し出してGPSで座標を特定することです。観光ルートから外れた場所にある壁画の存在は忘れられつつあり、これらを知るガイドも世代交替で消えつつあります。

また、断片的な座標データはあっても、包括的なインベントリー・リストはなく、その作成が課題となっています。

2024年はイヘーレン大壁画を訪れて、肉眼では見えにくくなっている部分の現状の写真と、ロート隊の模写、鮮明化画像処理した写真を比較分析しました。タッシリ・ナジェールの先史壁画の魅力は、6000年以上にわたって様々な民族によって描かれた多様性、日常生活から精神世界までカバーする題材の広がり、美術性の高さなどにあります。世界に類例を見ない先史壁画群です。

今回の講演では、調査結果の報告とともに、フランス国立自然史博物館のアーカイブ画像によるロート隊の模写と実際の壁画をスライド化したものをお見せします。

写真展では限定した壁画写真しかお見せできませんでしたが、今回の講演会では多様な壁画をお楽しみいただけたと思います。

【講演会次第】

○日時：9月26日（金）18時～19時15分頃（1時間講演、15分間質疑応答予定）

（注）講演は18時厳守で開始したく、参加者は開始10分程度前に会場にご参集ください。なお、講演会後に簡単な懇親会が予定されています。

○場所：在京アルジェリア大使館

〒153-0062 東京都目黒区三田 2-10-67 TEL 03-3711-2661

（アクセスについては、< <http://algerianembassy-japan.jp> > をご参照ください。）

○参加費：無料（会員）

なお、参加者人数は会場のキャパシティーから先着順40名に限定します。

準備の都合上締め切りは9月24日（水）とします。

また会員は同伴者1名の参加を認めます。但し当協会の財務状況に鑑み、非会員の方の参加費を1,000円とさせていただきますので、当日、会場受付にてお支払いください。

○講演テーマ：「タッシリ・ナジェールの先史壁画－アンリ・ロート調査隊の足跡をたどる」

○講師：英隆行氏（当協会会員）

【講師プロフィール】

英 隆行（はなふさ たかゆき）

1952年岐阜県生まれ。上智大学文学部仏文科卒業(1978)。SPÉOS Paris Photographic Institute 報道写真部門卒業(2013)。

サハラ砂漠をこよなく愛し、サハラ砂漠の自然や先史岩壁画を主なテーマとして写真を撮っている。2014年に写真展「イヘーレン岩壁画－5000年の時を超え、緑のサハラが甦る」を東京と京都にて開催。

2019年、2022年に写真展「サハラに眠る先史岩壁画」を京都と東京にて開催。

2024年に駐日アルジェリア大使館主催で、写真展「タッシリ・ナジェールの岩壁画」を大使公邸にて開催。

・・>

本件講演会へご参加の場合、以下のフォームにより、E-mailにて、<info@japan-algeria-association.jp>あてに返信してください。

また、ご同伴者については、氏名・住所を記入の上、返信いただくようお願いします。

・・

日本アルジェリア協会主催 講演会（9月26日）

ご氏名：

ご住所：

ご所属：

メールアドレス：

ご同伴の方のある場合、ご氏名・ご住所：

・・

以上につき、よろしくお願いします。

日本アルジェリア協会